



触覚を伝える、 触覚で繋がる

— 感覚のデジタル化技術とその可能性 —



2024.3/5 [Tue]

15:00~16:30 (受付14:30~)

港区立産業振興センター 研修室1

港区芝5丁目36番4 札の辻スクエア10F

港区立産業振興センター9階総合受付 TEL:03-6435-0601

【講師】

慶應義塾大学大学院

メディアデザイン研究科(KMD) 教授

南澤 孝太氏



わたしたちは、日々さまざまなモノやヒトと触れ合い、触れ合いを通じて、喜び、親しみ、安心など、様々な感情を育みます。このような「触覚」がネットワークにつながり、遠く離れていても伝わるようになると、わたしたちの生活はどのように変わるでしょうか？

わたしたちの身体はいわば“センサーの塊”です。

ヒトの五感のうち、目で見える「視覚」、耳で聞く「聴覚」は、古くから記録と再生の仕組みが発明されテレビや電話を通じて記録・再生し、遠く離れていても伝えられるようになりました。そして、現在、皮膚で感じる「触覚」についても、デジタル技術を活用した記録と再生が可能になりつつあります。

本講演では、触覚の伝送技術を実際に体感しながら、触覚伝送の原理から触覚のデザイン、そして応用事例まで幅広く紹介し、触れ合いを通じてヒトと世界がつながる、未来の可能性を考えます。

触覚を伝える、 触覚で繋がる、 感覚のデジタル化技術とその可能性



【講師】

慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科(KMD) 教授
科学技術振興機構ムーンショット型研究開発事業 Project
Cybernetic beingプロジェクトマネージャー

南澤 孝太氏

＜専門分野＞ 身体性メディア、ハプティクス(力触覚)、身体情報学、
バーチャリアリティ、システム情報学。

KMD Embodied Media Projectを主宰し、身体的経験を伝送・拡張・創造する「身体性メディア」の研究開発と社会実装、Haptic Desig Projectを通じた触覚デザインの普及展開、新たなスポーツを創り出す超人スポーツやスポーツ共創の活動を推進。日本学術会議連携会員・若手アカデミー幹事、トレイグジスタンス株式会社技術顧問等を兼務。



2024.3/5 [Tue]

15:00～16:30 (受付14:30～)

港区立産業振興センター 研修室1

港区芝5丁目36番4 札の辻スクエア10F

お申込み方法

二次元コード、または港区産業振興センターHPのビジネスサポートファクトリー[イベントページ]からお申込みいただけます。

※要事前申込み



【主催】港区立産業振興センター指定管理者 みなと・キャンパス・リログループ
(事業担当:株式会社キャンパスクリエイト)

【お問い合わせ】港区立産業振興センター9階 総合受付
TEL 03-6435-060 <https://minato-sansin.com>



アクセス

- JR田町駅三田口(西口)から徒歩4分
- 都営三田線三田駅A3出口から徒歩4分/A4出口から徒歩3分



港区立産業振興センター

港区立産業振興センター 総合受付 TEL 03-6435-0601

【施設利用受付時間】月～土・祝 ▶ 9:00～21:00 日 ▶ 9:00～16:30

【ホームページ】<https://minato-sansin.com>